



親しらずについて

親しらずは基本的に抜くことをお勧めしています。歯列弓にきれいに並べば問題はないのですが、外側にずれたり、水平に手前の歯を押しよすようにはえたりとトラブルの原因になります。歯ブラシも届きにくく、一生口の中で歯磨きができない部分が存在することが問題なのです。汚れがついて腫れたり痛んだりすることもあります。

抜歯に限らず、外科治療においてはなるべく少ない麻酔量で効果的に麻酔をかけて素早く行うことが必要です。そうすることで腫れない痛みの少ない治療が可能になります。これは経験に裏打ちされた技術になります。安心してお任せください。麻酔が効いてしまえば抜歯自体が簡単なものであれば **1分もかからず** 処置をすることが可能です。その後止血を確認して終わりになります。

横向きの親知らずをそのままにしておく…



左のレントゲン写真のように手前の歯にむし歯を作りながら食い込むことがあります。こうなると抜歯だけではなく手間の歯の治療も必要となり治療後の経過が思わしくない結果となってしまいます。

断然若いうちに抜くことをお勧めします。

当院ではレーザーによる出血も少量で、早い治療で痛みも腫れも少なく治療することが可能です。

ご相談ください。